

～はなのえん～

花宴

筆（ふじ入居者：谷 たね子様）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 古村 成美

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第20号 発行日平成28年4月1日（冬号）



「深まる絆、 笑顔の絶えない家に」

特別養護老人ホーム山科積慶園
施設長 古村 成美

山科積慶園の開設から施設ケアマネとして周りの多くの皆様方に支えられ、一步一步ゆっくりではありますが7年という長いようで短い時間を過ごさせて頂きました。

障がい者福祉に関わって15年あまり、その後、環境が変わり高齢者福祉に関わって参りました。対象者が変わったとしてもその方それぞれの自立を支援するという視点は変わりませんでした。

自分自身では実現しにくくなった生活のお手伝いをさせて頂く事です。出来ない事、無くしたものだけに目を向けるのではなく、その方の思いやしたい事、出来る事に注目してよりよい生活に近づけていきます。

施設だからこそ出来る事もあれば出来ない事もあります。出来無い事もどのような代替えが可能か出来る中で最大限の可能性を考えます。基本的な寝る・食べるだけでもいろんな工夫や労力、他職種の協力が必要です。そして、少しでも満足して頂けた時に見せて下さる笑みやありがとう、嬉しいの一言に喜びを感じまたがんばる事が出来ます。

入居者様・利用者様の貴重な時間を共に過ごさせて頂く事はとても楽しく、学びも多くありました。時間を共有出来た喜びを少しでもお伝えし、お返しが出来るよう、出会えた事への感謝と生きてこられた人生への敬意を込めて笑顔を絶やさず関わっていきたくと思っています。

この度、施設長という大役を受けこんな私で大丈夫かと戸惑いと不安でいっぱいですが、入居者様・利用者様には変わらず安心してより良い暮らしを続けて頂けるよう努めさせて頂きます。

暮らしを支える事は施設だけでは無く、広く地域との関わりも大切です。また、家庭的な雰囲気の中で支援を行っていますが家族の代りは出来ません。職員の専門的なまなざしと技に、地域の方々やご家族様等のまなざしと関わりが加わる事で様々な幸せの可能性が広がります。

今後も、入居者様・利用者様・ご家族等様・スタッフ・地域の方々とのコミュニケーションを図り、益々お互いの絆が深まるよう願っております。

焦らずゆっくりでも一步一步歩みを進めていきたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。

デイサービスセンター ぬくもり 4ヶ月の行事

《クリスマス会》

年々上達している(?) 職員のハンドベルの演奏を楽しんでいただきました。

週の一日はバンドの方の楽しいトークと歌でいっぱい発散しました。

フルーツや生クリームをトッピングしたケーキにピンク色のシャンパンで乾杯しました。



《忘年会》

こちらも恒例になった忘年会です。

女子職員のダンスには、ちょっとひきながらも笑ってくださいました。

二人羽織で出来たて熱々のラーメンを口いっぱいにはおぼったり、ユニークなお化粧が出来たり皆さん涙を流して大爆笑でした。



《初詣》

年明けて折上神社への参拝も今年で二回目です。女性を守る神様が祀られている神社に仲良くお参りした後は一番の楽しみである外食へ一目散です。

今年は鶴喜そばでご馳走を前に皆さん最高の笑顔でお腹も心も大満足でした。



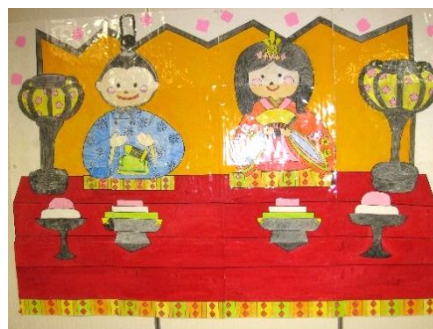
《壁面制作》

模造紙4枚分の大きなお雛様を作成しました。小分けしたものを手分けして色鉛筆でせつせと塗って下さり、壁面に立派なお雛様が飾れました。

その他、お正月前にはラタンボールに梅や松を挿してミニ飾りをかわいく仕上げました。

今年の持ち帰りのお雛様は紙を貼るだけで簡単に仕上がるようにして、利用者様をご自分で出来るように工夫し、顔以外は殆どご自分で作っていただきました。

今年はお花見ドライブが3月中になってしまいましたので、4月をご希望の多い回転寿司を食べに行こうと計画しています。



編集後記 * * * * *

今回、20号発刊となりました。ひとへに皆様のご協力で、楽しい笑顔が伝えられた事と喜んでおります。ありがとうございます。

さあ~皆様!桜も開花を迎え、どんどん活動開始。これからも素敵な笑顔をお届けしますので、楽しみにしてください。
(大浦)

《山科積慶園開設7周年記念行事》

開設7周年記念として、皆様心待ちにしておられたまぐろの解体！朝、和歌山で水揚げされたばかりの30kgもある立派なまぐろを目の前で手際よくさばく様子を見学し、中落ちをスプーンでかきとる作業は見学されていた方の中からお手伝いをさせていただきました。

まぐろの大きな頭と共に記念撮影をされたり、びっくりの表情をパチリ！その後、まぐろは握り寿司になり、とても豪華な昼食として皆様に提供され、実演を楽しみ、舌も大満足の素晴らしい開設記念行事として幕を閉じました。(和田)



医務室だより「8020運動について」



「8020運動」というのをご存知ですか？

「80歳で20本の歯を保って健康的な食生活を！」という歯科医師会が提唱している運動です。ところが、実際には「8005」、つまり80歳で自分の歯は5本くらいしか残っていないそうです。

日本人は50歳ごろから歯を失っていきますので、平均寿命である80歳までの30年近くも義歯のお世話になる可能性があります。快適な義歯生活を送る為には、正確な義歯のお手入れが大切となります。使用中の義歯のピンク色の顎の部分や歯の部分には、灰色や茶色の汚れが付着しています。これを「デンチャープラーク」といい、細菌が食べかすを原料にしてプラーク造り、棲み付いた状態です。これには無数の細菌やカビが繁殖し、義歯性口内炎や口臭、あるいは誤嚥性肺炎などの原因になります。また、古くなって凝り固まると歯石になり、磨いても取れなくなってしまいます。食事をすると義歯に食べかすが付着するため、食後は毎回義歯をはずして清掃しましょう。食べかすが少しでも残っていると細菌が繁殖しやすくなるため、丁寧に洗うことが大切です。ただし、デンチャープラークは細菌が作り出すため、食事をしなくても付着する場合があります。就寝時には義歯をはずし、水や義歯洗浄剤に浸しておきます。日中義歯に圧迫され続け、血行の悪くなった粘膜を回復させる必要もあります。また、はずしておくことによりデンチャープラークの繁殖を防ぐこともできます。

水洗いが基本

まず義歯をはずして水洗いし、全体に付着した食べかすを流します。次に、歯の部分や金具の部分などは、歯ブラシや義歯用ブラシを使うと磨きやすいでしょう。ただし、歯磨き粉は義歯の表面に細かい傷をつけ、汚れが目立ちやすくなるため、使用を控えましょう。

(小島)

春の代名詞とも言える桜の木が当園にもある事を知っておられましたか？

いまだ、大きな木ではありませんが今年はずぼみができ、咲いていました。

この号がお手元に届く頃には、桜の花は散ってしまっているかもしれませんが、来年桜の時期に来られた際は是非ご鑑賞下さい。(亀苔)



《クリスマスケーキ》

クリスマスイベントとして今年も各自それぞれで、自分だけのオリジナルのクリスマスケーキを作りました。

カッティングされたスポンジケーキを生クリームでコーティングして、いちごと生クリームでサンタクロースに見立てた飾りをのせて、スプレーチョコを散りばめました。皆さん上出来です。

普段、甘い物は苦手だとおっしゃっておられた利用者様もペロリと平らげていらっしゃいました。(大屋)



《餅つき》 穏やかな天気にも恵まれた12月29日、恒例のおもちつきをしました。石臼と大きな杵が玄関先に準備され、ホカホカに蒸しあがったもち米が運ばれてきます。湯気とともに美味しそうな香りが漂い早くも歓声があがります。「よいしょ！よいしょ！」とかけ声がかかりますが、若い職員はへっぴり腰、慣れない返し手もおっかなびっくり。笑い声に応援されながら、最後はベテランのつき手に交代。無事にお餅がつきあがりました。

早速、みんなで鏡餅作り。ここは職員よりも女性入居者の方々の出番です。餅とり粉であちこち真っ白になりながら、熱々のお餅が手早く次々と丸く仕上げられました。もちろん、その日のおやつはつきたてのお餅。お好みに合せ、きな粉やぜんざいでいただきました。(卯田)



《書き初め》

1月9日に、書初めをしました。皆さんに「花宴」や新春らしい文字、今年の目標などをお手本の字を見ながら一生懸命に納得がいくまで何度も練習し、最後に清書をしてもらいました。

「書けるかね」と不安そうにしていた方も、筆を持つとみんな達筆で驚かされました。毎回、機関紙「花宴」に載せている文字も皆さんの作品です。(岸本)



《節分》

今年は2月4日に節分を行いました。鬼に扮した職員が利用者様のもとに!!さあ豆で鬼を退治しよう!! 「鬼は一外!!福は一内!!」皆様の元気な声と力強く投げた豆で鬼が怯えて退散しました!!皆様の元気があれば来年鬼が来ても安心ですね!!今年も元気に幸せな1年をお過ごしください。(武田)

